

何を使う

機器 スマートフォンまたはタブレット

ソフトウェア（アプリ）

Windy（無料版）iPhone、Android



それをどう使う（それで何ができる）

- ・風向きや風速を視覚的に確認することができる。
- ・天候を 10 日後まで予測することができる。
- ・雲の動きや気温などを同時に確認することができる。
- ・世界地図で地球全体の風向き等のデータが分かる。

ここが変わる、活用メリット【ICT 活用 Before-After】

中学校 理科「気象とその変化」

【 Before 】

- 気象観測において、雲量や雲の動きを調べる際、新聞やWebで過去のデータを調べることが多い。
- 前線の通過と天気の変化について学習する際、様々な気象要素を別々に扱うことが多い。

【 After 】 **メリット**

- アプリを活用することで、風向きや風速を視覚的に確認することができ、様々な気象現象の中に規則性があることを見いだすことができる。
- アプリを活用することで、雲の動きや気温などを同時に確認することができ、前線の通過によって起こる気象要素の変化などを、暖気や寒気と関連付けて理解することができる。

機器 (台数)	スマホ	タブレット	PC	その他		学習 場面	一 斉	個 別	協 働
	○	○					○	○	
	3、4 人に 1 台程度								
授業実施時に必要な環境→				インターネット接続		○	1 人 1 台端末		
活用が想定 される校種	小	中	高	特	活用が想定される教科・科目等		理科		
	○	○			活用が想定される場面		グループ学習		